

発行日：2024 年 1 月 4 日

発行者：広報チーム

リハニュース 学習会号

9月28日に開催された学会の報告会を行いました。

参加した学会：第21回日本神経理学療法学会学術大会

「臨床知へのあゆみ～学際性への架け橋～」(9月9日(土)～9月10日(日)開催)



報告の概要

・共催シンポジウム

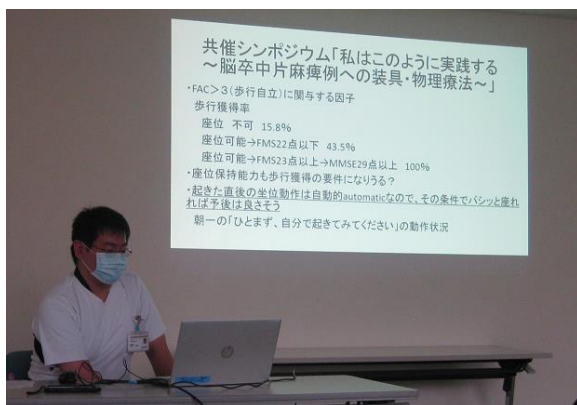
「私はこのように実践する

～脳卒中片麻痺例への装具・物理療法～」

「健康寿命の延命に向けた脳卒中理学療法の展開」

・最近のリハビリ医療機器の紹介・体験しての感想

歩行神経筋電気刺激装置 L300Go の紹介



鈴木理学療法士からは、下肢装具を活用した歩行練習を行うための評価の基準や、健康増進のための新たな目安である「1日6000歩」という運動指標の紹介をしていただきました。



山田理学療法士からは、「3軸加速度センサー」を導入し、多様な視点での歩行評価や適切なタイミングでの電気刺激等が可能となっているとのことでした。

【学習会こぼれ話】

- ・今回の報告会へは 15 名ほど参加しました。
- ・参加アンケートの結果、電気刺激治療機器や歩行機能評価に興味をよせる職員がおり、その中には操作や装着方法など実際の臨床場面をイメージする意見も聞かれた。
- ・歩数を運動の指標として用いることに対して科学的根拠が認められているという報告が聞かれており、当院のリハビリテーションにおいても歩行距離だけでなく歩数も考慮した負荷量設定をする必要性を確認出来た。
- ・また運動ばかりではなく栄養の観点、特に摂取たんぱく質の管理も健康増進や運動負荷量の大事な指標となることを確認できた。